

米国・カナダ都市 行政視察報告



トロント市庁舎

平成二十四年十月九日から十八日にかけて、米国・カナダ都市行政調査団に本市議会より参加しましたのでご報告いたします。

まず、ニューヨークに着き、自治体国際化協会ニューヨーク事務所で米国・カナダの地方自治制度について説明を受ける。日本の行政制度とあまりの違いに驚いた。市町村制をおこなうのも住民自ら立ち上げなければならぬのであり、組織も市長に多くの権限

米国・カナダ都市行政調査研究

なかひら
中平

よしあき
好昭

いえもり
家森

たてあき
建昭

期間・10月9日から18日まで10日間

を与えている市もあれば儀礼的な市長の市もあるのである。

また、議員にしても立法的権限と行政的権限を併せ持つ市もあり、それらは市制を立ち上げるときの市民の選択である。つまり、全国統一的なものはなく住民の意思であり選択なのである。

ニューヨークでは市の消防局を視察した。9・11テロで多数の職員が殉職した事件や旅客機がハドソン川に不時着したことなく危機管理のあり



ニューヨーク事務所視察

方を学ぶ。翌日はニューヨークジャージー州警察署環境保護局災害対策本部でも危機管理センターと呼ぶべき施設を視察した。

カナダのトロントに飛行機にて飛び、今は使われていない巨大な農園あとをバスの中から見る。百数十億円はかけたか何棟ものハウスなどまだ新しい設備。農業の厳しさはカナダも同じらしい。

訪れたのは夫婦で経営する無農薬栽培農家と、家族で経営するりんごを主として野菜や果物を生産し直売している農家である。

トロント市では市の都市計画と、環境で世界をリードしていると言われている市の環境局を視察。独自開発した路上清掃車で市内を清掃し、空気も以前よりきれいになったといわれていた。建物も含め清潔で美しい街であった。

再びアメリカのシカゴに寄

り、近郊のエバンストン市議会を訪れ意見交換し、昼食を一緒に摂った。

日本に居ても調べることが出来ることも多いが、現地の市民や議員との意見交換、また両国における行政サービス、の少なさや、アメリカに入国時の持ち物検査は戦時体制かと思えるほどのチェックなどは行かないと体験できない。

また、自治体の体制など今後の議会活動に生かさなければと思いつつ帰国しました。



エバンストン市視察